

なのはなだより

NANOHANA DAYORI

No. **65**

October 2011

NANOHANA DAYORI



■エクセレントケア志津「9/10敬老会にて」お月見泥棒と称して、紅白饅頭をご利用者様に配りました。

INDEX

1
2

トレンドTOPIX 潮流
（ニュースウォッチ）

ヘルパー不足さらに深刻！
民間企業7割足りない！！

フォーカス「老健ちば」

〈事務長会報告〉

〈支援相談員部会報告〉

3
4

〈特集こうほうレポート〉

「秋山正子氏講演会」 in 千葉市文化センター
在宅ケアのつながる力
〜どんな時でも、命は輝く〜

5
6

〈研修会報告〉

自由気ままに

ペーパーブログ

「早朝ウォーキング」
まくはりの郷 吉田 健

事務局紹介



7

〈なのはなスマイル〉施設の笑顔紹介

● ケアセンター けやき園

● 百寿園

〈老健ちばカレンダー〉
〈編集後記〉



<http://www.chiba-roken.jp/>

平成23年10月26日 発行

● 発行者/千葉県老人保健施設協議会 ● 編集者/広報委員会

● 〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-250-7352 FAX:043-286-0661

「介護労働実態調査」の
最新版がまとまりました。



潮流
トレンド
TOPIX
ちょうりゅう

ニ
ユ
ー
ス
ウ
オ
ツ
チ

ヘルパー不足さらに深刻！
民間企業7割足りない！！

介 護サービス事業所の雇用管理、賃金、人材確保の状況などを把握

するために「介護労働安全センター」が毎年実施している「介護労働実態調査」の最新版がまとまった。事業所の人手不足感は前年度を3.5ポイント上回り、50.3%と半数を超えた。特に深刻なのが民間企業やNPOが経営する訪問介護事業所で、7割を超える事業所が足りないとしている。

調査は、2010年10月、1万7030事業所を対象に実施。7345事業所から回答を得た（回収率43.1%）。法人別では民間企業が5割を占めて最も多い。社会福祉法人と医療法人が1割強、社協・NPOは5%程度。

調査時点からさかのぼった1年間の採用・離職の状況を見ると、ヘルパーとそれ以外の介護職を合わせた採用率は25.8%、離職率は17.8%。前年度より離職率は0.8ポイント増しとわずかに上昇。しかし、産業全体の労働者の離職率（09年度）が前年より2ポイント近く上がっているのと比べると、介護

職のほうが人材流出は少ないと言えるうだ。

ただ、ヘルパーと介護職員では就業形態別で傾向に違いがある。ヘルパーの場合、離職率は正社員が17.5%、非正規社員が14.5%で正社員の離職率が若干高いのに対し、介護職員は正社員15.4%、非正社員25%。

定着率についての認識では、訪問・通所系事業所で「低くて困っている」が1割なのに対し、入所施設では倍の2割近くに達していた。このことから、特に入所施設の非正規介護職において離職率が高いことがうかがえる。

職員の過不足状況では、目立って不足感が大きかったのがヘルパーだ。事業所全体では50.3%。それを職種別に分析すると、ヘルパー以外の介護職員や看護職で4割、ケアマネジャー2割、PT・OT・ST3割となっているのに比べ、ヘルパーだけは65.9%と突出して高い。さらに、法人格別では、民間企業とNPOの「不足感」がいずれ

も7割を超えており、「事業を拡大したいが人材が確保できない」が4割、新規の利用者の確保が難しいとする事業所が3割あった。登録ヘルパーの「数」に頼った拡大経営が人材確保の難しさの中で限界にきているとも読める数字だ。

■従業員の過不足状況(%)

	事業所数	不足感
全体	4885	50.3(46.8)
訪問介護員	2496	65.9(64.3)
サービス提供責任者	2597	19.9(21.4)
介護職員	4298	40.4(38.4)
看護職員	3682	39(38.3)
生活相談員	2948	14.1(13.7)
PT・OT・ST	857	28.7(28.7)
介護支援専門員	3394	17.7(18.9)

* ()は前年度調査結果

シルバー新報 9/2より一部抜粋



大災害に対して 「地域の自主的取り組み」が 大事であることが再認識できました (平成23年度事務長会)

事務長会報告

平成23年6月28日(火)ホテルポルトプラザちばにおいて、73施設76名の参加のもと、「平成23年度事務長会」が開催されました。今回は、講師に㈱インテリスク総研 主席コンサルタント 山田滋氏をお迎えし、「高齢者施設の大規模災害対策」と題してのリスクマネジメント・セミナーが行われました。3月11日の東日本大震災を踏まえ、自然災害の



防災対策のあり方を学びました。今まで大災害に対しては「自治体任せ」でしたが、今回の例で見ると、自治体自体が機能しなくなる場合を想定し、「地域の自主的取り組み」が大事であることが再認識できました。

セミナーの後は、各ブロックごとに集まり、事前アンケートをもとに地域別グループ討議を行いました。そこでは施設ごとの光熱費や人件費、実地指導の動向などが確認でき、大いに盛り上がったグループもありました。

支援相談員部会報告



支援相談員部会長
クレオ 中川 康子

8月5日(金)、ホテルポルトプラザちばを会場に、今年度第二回目の支援相談員部会が開かれました。県内各所より、支援相談員60名程が参加し、情報交換を行いました。

メインテーマは「有料老人ホームと高専賃」。施設入居相談センター(株)スロライフの武井厚司相談員より、有料老人ホームと高齢者専用住宅の概要と実態についてお話いただきました。一口に有料老人ホーム、高齢者専用住宅と言っても、最近では多種多様なサービスが展開されています。入居相談員として、数々のホームに足を運び、様々なニーズの相談に当たってきた経験を元に、ホームを選択する際のポイント、注意点をわかりやすく解説してくださいました。高額のイメージの入居費ですが、以前に比べれば低額なところも出てきているようです。そうは言っても、従来型の老健の費用に比べればまだまだ高額で、「移れるような経済状況の入所者はいない」との声も聞かれました。

講義の後は、ブロック別に分かれ、講義の感想や日頃の業務について、意見交換がなされました。今年度初顔合わせのブロックも多く、今後の活動に向けて意思統一が図れたことと思います。

さて、10月5日(水)には支援相談員研修会が開催されました。「福祉と介護研究所」の梅沢佳裕氏に、「相談員の支援力」というテーマでご講義いただき、熱のこもった研修会となりました。こちらの内容につきましては、また次号以降でご紹介できればと思います。

支援相談員といっても、施設によって業務の範囲はまちまちのようです。なるべく共通する課題を取り上げ、資質の向上に取り組んでいければと思っております。



平成23年8月23日(火)、千葉老人保健施設協議会主催による講演会が千葉市文化センターにて開催され、一般、職員を合わせて50名が参加されました。

講演者は、NHKプロフェッショナル「仕事の流儀」にも出演された秋山正子氏です。

訪問看護に興味をもってくれる人を増やしたい思いで、有限会社ケアーズを設立(現株式会社)、白十字在宅ボランティアの会理事長、白十字訪問看護ステーション代表取締役、総括所長であり、東京都新宿区を中心に訪問

秋山正子氏 講演会

in 千葉市文化センター

在宅ケアのつながる力

〜どんな時でも、命は輝く〜



■講演する秋山氏

看護・居宅介護支援・訪問介護事業を展開しています。

訪問看護ステーションの告知や活動内容、連携、看取り「在宅ケアの魅力を伝えたい」ということで、必要があれば遠方まで足を運んで思いを伝える活動をしています。

「笑顔で相手を安心させ、リラックスした中で看護を受けることが出来る状況を作り、その人格はすばらしいものがあります。闘病を支える方にとっては、人間力はかせない大事なもの。」



■講演会場風景

なものです。

障害があっても、病気があっても、たとえそれが治らないと分かっているても、住み慣れた地域で暮らしたい。その思いを大切に、その人の生き方を尊重し、その人らしく人生を全うする

ことを支えたい。」と話された秋山さんの姿、そして言葉から、たくさんのお話を教えて頂きました。



■資料を熱心に収集する参加者



■秋山氏と参加者

講演会に 参加して……



京葉介護福祉専門学校
副校長
関谷 晃さん

私

達京葉介護福祉専門学校校長以下5名の教員は8月23日千葉県老人保健施設協議会主催の講演会に参加させて頂き秋山先生の「訪問看護」を主とする活動状況を拝聴させて頂いた。NHKのプロフェッショナルで日本国中にTV放送され反響の大きかった作品をパワーポイントで丁寧に説明して下さいました。

特に印象深いものとして在宅ホスピスケア医師との連携状況の常時把握、看護教育で在宅ケアの重要性から後輩育成に寄与していること等多くのことが私達の教育に役立てる貴重な講演であった。これからも先生のご活躍を期待しております。主催者にも感謝申し上げます。



千葉医療センター付属
千葉看護学校三年
長畑 詩穂さん

学

校の授業や実習で訪問看護に魅力を感じたため、今回の講演会に参加しました。秋山さんの講演を聞いて、いのちに寄り添う看護、在宅での看取りの看護の実際に感銘を受けました。また、病气や障害を持つても生き活きと生活ができ、穏やかに人生を終えるところまで支える医療が大切であるという秋山さんの言葉が心に響きました。私は、退院したから終わりではなく、患者様の退院してからの生活にまで目を向けた看護を心がけていきたいと思えます。高齢社会などの社会事情により、訪問看護の必要性は高くなると思えます。私も臨床経験を積んだのち、秋山さんのように訪問看護に携わりたいと思っています。貴重な講演ありがとうございました。



JA千葉厚生連介護サービス
畠 淳子さん

私

は、以前大学院で学んでいた時に、訪問看護の現状についてご講義いただいたことがあります。今回は三度目の聴講となりました。秋山先生にお会いする度に、脱水症を起こしそうな私に、いつも潤いをそそいでくれます。ケアマネジャーという立場で、先生の話される「隣のおばさん」に私はなれているだろうか？ コミュニケーションがとれているか？ 「あなたに関心をもっていますよ。あなたの存在のすべてを肯定していますよ。」そんなメッセージが送れているだろうか？ 自問自答します。どんなときでも命は輝いている。医療・福祉の仕事は、「二度しか生きられない命に寄り添うことができる。幸せを共に感じる」ことができる。「なんて素晴らしい仕事でしょうか！ 私たちは、秋山先生がおっしゃるように、人をつなぐ・人と人との関係を作る・人と人との関係をつむぐといったつながる力を信じて歩んでいきたいものです。最後に、研修を企画された老健ちばの皆様にも、感謝します。

成田国際福祉専門学校

三年 中西 淳子さん

今

回の講習会に参加して、学校で学び感じてはいましたが、改めて、国が施策としてあげている在宅でケアを行う必要性を感じました。但し、施設でのケアを排除するのではなく、在宅では困難な方や希望する方に対しては施設で、施設ならではのケアを行い、加えて、在宅で過ごすような親しみやすさも必要だと思いました。現実では施設に入居できず、不安をかかえながら過ごしている在宅の方たちも多くいると思えます。その様な方に対しても在宅ケアが広く普及すれば、施設に入居できなくても安心して生活していけるようになると思えました。

研修会報告

ターミナルケア研修会

平成23年7月20日(水)京葉銀行文化プラザを会場に「ターミナルケア研修会」が開催されました。

当日は38施設74名の介護士・看護師・ケアマネージャー・栄養士など、さまざまな職員の方に参加いただきました。一日を通して、介護老人保健施設まつど徳州苑 総看護師長の中山啓子氏・ケアマネージャーの東川とも子氏より「老健における看取りケアの取り組みと課題」について講義・グループワークを行いました。午前は、まつど徳州苑で実際に行ってきた看取りケアの実際をテーマに講義がありました。午後は、午前中の講義を聴いて「看取りケアを行っている」「今後看取りを導入していく」「看取りを行っていない」各施設からの参加者を一緒にしてグループに分かれ、現状・課題について意見交換を行いました。講義終了後は、質問もあり、活発な意見交換や、情報収集・看取りケアについて再確認など出来たことと思います。そこで、参加した職員の方から感想をいただきましたので紹介いたします。



参加者の感想

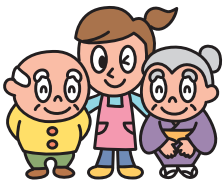


赤門なのはな館
介護支援専門員
小坂 久美子

今回の研修では他施設の現状を知る事ができターミナルケアとは、特別なものではなく、施設の日常ケアの延長線上にあるものであるということが強く感じられました。

死期が迫り、意識も低下しているときに、何を求めているのか。家族が知らない入所生活の経過(楽しかった時、嬉しかった時、怒っていた時、悲しんでいた時...)を知っているのは一緒に過ごしてきた職員でもあります。日々の状態変化に気づいて、カンファレンスを行い、ご家族のお気持ちを汲み取りながら意向の確認や近況報告に努めていく事が大切であると感じました。

大切な命の最期を皆で考え、悩み、協力してご利用者ご家族が『赤門なのはな館で過ごして良かった』と思えるように努力していきたいと思えます。



高齢者の栄養と食事研修会

平成23年8月11日(木)京葉銀行文化プラザにて57施設91名の参加のもと、「高齢者の栄養と食事研修会」が開催されました。講師には、地域栄養ケアPEACH厚木の江頭文江氏と介護老人保健施設老人ケアセンター浅井の言語聴覚士、若梅裕美氏、同じく管理栄養士、川畑菜津紀氏をお迎えし、「楽しく食事を食べてもらうために」と題して講義をしていただきました。摂食嚥下障害者への食形態の工夫や、むせた時の対応や誤嚥を回避するためのアプローチ、現場で出来る摂食、嚥下リハビリテーションなどを学びました。今回は参加者の中から、感想をいただきましたのでご紹介いたします。



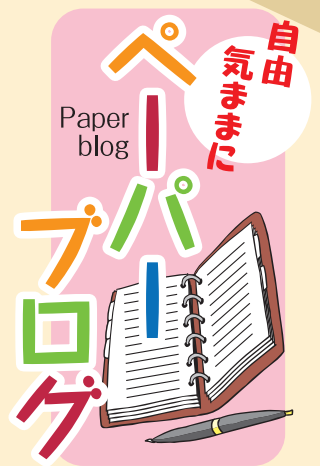
参加者の感想



エクセレントケア志津
介護福祉士
長田 千恵

普段使用しているトロミについて、むせやすいからトロミの濃度をあげれば飲みやすくなると思っていました。逆に粘度がついて喉にまとわりつき、残りやすいことを研修で伝えられ、トロミをつけることでのデメリットもあることを学び、はっとさせられました。食形態の刻みについても、かたい食材はいくら小さくしても飲み込みづらいので、やわらかくしたり、形態を壊して提供していくことを考えたり、たくさん食べられない方へは練りゴマやマヨネーズを使ってカロリー摂取をアップするなどの工夫を教わることが出来ました。

食事を楽しんで召しあがって頂くために食事を作る側も、提供する側も、何か良い方法はないかと常に考えながら、仕事に取り組んでいくことが大切だと改めて考えさせられました。明日から自分自身出来ることを始めていきたいです。研修に参加できてよかったです。ありがとうございます。



『早朝ウォーキング』

まくはりの郷 吉田 健

最近、早朝ウォーキングを
始めました！

私の妻は糖尿病の境界型で、定期通院
しています。医師からは、食事と運動の生
活改善をするよう言われています。なの
で、食事に配慮すると、会社の昼休みに
ウォーキングをしています。その甲斐
あつてか高めた検査データは下がっ
てきています。でも、妻としては一向に減
らない体重のことが不満
でした。

私はというと体重だ
けで考えるとダイエット
は必要ないのですが
(むしろ体重を増やした
いくらい)、最近の健診で
血糖値・尿酸値・コレステ
ロールが高めというデー
タが続いていたので、「食
事や運動の生活改善が必要
かなあ」と感じていました。

妻から「もっと歩きたいか
ら一緒に歩かないか？」と誘
われたのをきっかけに早朝



ウォーキングが始まりました。週2日
ですが朝4時から歩きます。最初のうちは
起きるのが大変でした。でも、慣れるも
ので今では苦ではないです。早朝の空気
はとても気持ちが良いですが、早朝の空
気は私にとっては田舎で緑豊かなの
で、ウォーキング中にカブトムシやクワ
ガタを見つけたこともあります。先日は
たぬきに遭遇しました。(びっくりしまし
たし、正直たぬきの唸り声を聞いた時は
ちよつと怖かったです。)1時間から長い
時で2時間歩くので結構疲れます。で
も、歩いた日は、1日身体が軽快に動く
ような気がします。

妻は、順調に体重が減少していて、ノ
リノリです。後は、私の検査データも良
くなっていることを祈っています。近々
健診があるので楽しみです。

最近「子供たちとも歩きたい」と思
い、家族そろつてのハイキングも始めま
した。先日は、埼玉の長瀬へ
行ってきました！荒川の支流
部で、川下りが有名なので
やってみたかったのですが、
台風の後とあって水量が多
すぎて中止してしまいました。今
度行った時には是非チャレ
ンジしたいです。宝登山と
いう山にロープウェイを
使って登り、下りを歩いて
来ました。木々の中を歩
くのはとても気持ち良
かったです。

早朝ウォーキングと
ハイキング、はまりそ
うです！

事務局紹介



前号の事務局長紹介に引き続き事務局
員の紹介です。事務局員は二名です。

左が渡部、右が中川です。みなさんとは
研修会の受付でお会いしていますのでご
存じの方も多いかと思えます。普段は、事
務局で仕事をしており、内容は、主に研修
委員さんが企画した研修会の実施に向け
事前準備として、会場の確保や研修会案
内、資料の準備を行い、当日は会場運営全
般を行っています。その他に、広報委員さ
んと広報誌を作成、会員施設からの会費
の管理や事務局運営のその他の事務全般
を行っています。

事務局の仕事をしている際に私たちが
感じることは各委員さん達に支えられて
いるということ。また、研修委員さん
や広報委員さんとの会議ではとても勉強
になります。特に研修委員には多職種の
方に研修の企画に参加していただいて現
場に活かしてほしいと思います。私たち
は、研修会の受付にいます。いろいろな話
ができるとうれしいので、ぜひ声をかけ
て下さいね。

福祉車両の
プロフェッショナルに
お任せください。



INGENIOUS 福祉車両の販売・メンテナンス
エンジニアズ株式会社

〒114-0004 東京都北区船橋3-32-11 tel.03-5390-2311
フリーダイヤル 0120-023-238

ホームページにて **福祉のひろば** を開設致しました。
無料掲載をご希望の施設様はお問い合わせ下さい。

<http://www.ingenious.co.jp/>



な の は な
ス マ イ ル



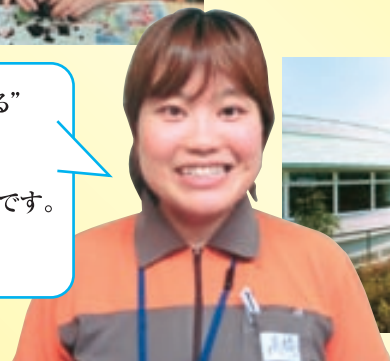
…施設の笑顔紹介



JR鎌取駅前徒歩2分の利便性、雑木林が残る自然環境が共存する場所に「けやき園」があります。地域・家族との絆を大切に心地よい安心感をいただいております。できたらいいな、それが私たちの願いです。

“ご利用者の立場になって考える”
簡単なようで難しいです。
けやき園デイケアは
楽しく・明るく・笑顔の素敵な事業所です。

●ケアセンターけやき園
支援相談員 高橋 眸



■ケアセンター
けやき園

住所：千葉市緑区鎌取町81-1
電話：043-293-5181
開設日：平成15年4月1日
入所：100名
通所：30名



成田山新勝寺を遠方に望む高台に位置する百寿園は、緑豊かで自然に囲まれ静かな場所にあり、併設の総合医療センター成田病院と密接な連携により十分な対応を行っています。入所される方のケアプランに沿って看護・介護・リハビリを行い在宅復帰を目指して職員一同頑張っております。

入職してまだ数ヶ月ですが
利用者皆様が毎日笑顔で
過ごせるよう、
元気に頑張っています。

●百寿園
介護職 白鳥 健吾



■百寿園

住所：成田市押畑896
電話：0476-22-1500
開設日：平成元年9月21日
入所：96名
通所：無し

老健ちばカレンダー

11月

- 14日(月) 身体拘束・虐待研修会
『ホテルポートプラザちば』
- 24日(木) 施設ケアマネージャー研修会
『千葉県教育会館』
- 29日(火) 移動・移乗研修会
『ホテルポートプラザちば』

12月

- 22日(木) 研究事例発表大会
『千葉市文化センター』

平成24年

1月

- 管理者研修会 ※日時・場所は未定です。

●編集後記

- 先月、台風一過秋晴れの日に、娘が広島で結婚式を挙げました。寂しさを広報活動で紛らわし頑張ります。(坂本)
- 節電を頑張った夏が終わりました。ビールを飲むと発汗多量でクーラーLOVEになってしまいます。アセモの発症・治療を繰り返しました。ツラかった(ノ-)。(若林)
- 急に寒くなった今日この頃、風邪引きが多くなりました。インフルエンザワクチンがなにやら出荷できないなど一体どうなるのか？でも私は一度もかかったことはありません。一体何故(ノ)。(原)
- 秋らしくなり、相談室の窓から外を眺めると紅葉より先に増床工事の景色が…これから忙しくなりそうです。(神作)
- 今年は、自宅で紅葉狩りができるよう、ナツハゼを植えました。我が家に、待望の紅葉スポット誕生？となりますように。(佐々木)
- 処遇改善交付金が今年度で終了となる中、事業仕分けで凍結されたはずの超豪邸格安家賃の公務員宿舍新築工事が着工、そしてまた凍結？今の政治を全く理解することができないのは私だけなのでしょうか？(斎藤)